

令和7年度 幼保小連携推進事業「授業と保育の相互参観（協議会）」

第3回協議会だより《東方部》

令和8年1月14日（水）15:00～16:40 郡山市役所 正庁

【実践発表】 たから幼稚園

④小学校ごっこをしよう

①あさのわあつまし
②せんあそび
③せいてく
④ねぎやうしょく
⑤さうじゆつ

提示する内容を徐々に増やしていく

①(8時～12時)
②(12時～14時)
③(14時～16時)
④(16時～18時)

一日の流れを体験している様子

4. 近隣小学校との幼小交流・情報交換

遊びを企画してくれたお礼にお守りを製作し、プレゼントしました。

たから幼稚園は、「じょうぶで明るいこども」「よく考えよく遊ぶこども」「ともだちと仲良くし思いやりのあるこども」を教育目標に掲げています。その目標のもと、「小学0年生プロジェクト」と名付けた取組を展開し、子どもたちが小学校入学を楽しみにしながら生活できるよう支援しています。4月には教員が近隣の小学校を訪問し、1年生の様子を観察します。これにより、子どもたちが1年後に目指す姿を具体的にイメージでき、幼稚園生活と小学校生活とのギャップを軽減できるよう、計画的かつ組織的に就学準備を進めています。また、小学校生活を意識した生活習慣の形成のため、年少児から段階的に友達の前で発表する機会を設けたり、時程表を掲示してチャイムを鳴らしたりする工夫をしています。さらに、交流活動として芳山小学校を訪問し、交流活動では芳山小学校を訪問し、廃材を使った遊びを体験。園に戻ってからさらに工夫し、新しい遊びを積極的に取り入れながら協力して活動する姿が見られ、成長が感じられました。

【協議会】 グループ協議で実践発表に対する感想・意見交換が行われました。

テーマ 幼保小の相互理解と円滑な接続の在り方について



① 実践発表について

- ・小学生ごっこ等、年長児になる前から段階的に取り組んでおり、一年生に向けた取組を行って参考にしたいと思いました。
- ・幼稚園のうちに、小学校生活に関することをたくさん経験することで、入学してからの不安な気持ちやマイナスの気持ちが軽減していくことが分かりました。

② 遊びや環境を通して育まれる資質・能力について

- ・「遊び」と「学習」どちらも子ども自身が主体的に取り組むものとして認識しています。子どもの興味があるものを提示する環境を整えていくことが大切であると思いました。
- ・廃材遊びを通して製作や遊びなど段階的に発展できるように工夫しています。

③ 就学に向けた幼保と小の情報共有について

- ・要録での情報も大切ですが、電話での情報共有も助かっています。

«参加者からのアンケート»

- ・他園での就学に向けての取組を聞いたり、小学校の先生方のお話を聞くことができたりして、密な情報交換が出来てとても勉強になりました。
- ・幼保の取組が小学校につながっているとわかり、ありがとうございます。子どもたちの気持ちをつなぎ、小学校生活を送らせたいです。